

第 1 回 札幌駅交流拠点再整備構想案策定委員会の 結果概要 (議事要旨)

1 . 開催概要

日 時	平成 22 年 1 月 13 日 (水) 10 : 00 ~ 11 : 30
開催場所	すみれホテル 3 階 ヴィオレ
出席者	別添資料参照

2 . 議事要旨

(1) 策定委員会の組織体制について

- ・ 策定委員会の委員長を小林英嗣、副委員長を田村亨とする。
- ・ 策定委員会の事前協議を行うため、運営部会を設置する。運営部会の委員選定については、策定委員会委員長に一任する。

(2) 札幌駅交流拠点再整備構想の考え方について

- ・ 将来の札幌駅交流拠点を考えるにあたっては、これまでのような成長戦略ではなく、既存ストックを活用して空間や都市機能などの質を高めていくことが求められる。
- ・ 第 4 次札幌市長期総合計画で掲げられている「世界都市」などの既存の考え方に捉われることなく、「人」、「環境」、「創造」といった新しいキーコンセプトが出てくると良いのではないかと。今後の検討においては、これまでの計画の中から「捨てる考え方」と「新しい考え方」のメリハリをつける必要がある。
- ・ 札幌駅交流拠点には、札幌市圏における産業施策と結びついた空間的な位置づけが必要である。
- ・ これからのまちづくりは 100 年単位で考えるべきである。札幌駅交流拠点においても、少なくとも、30 年から 50 年後のことを考えてまちづくりをしていかななくてはならない。
- ・ 札幌駅交流拠点再整備構想策定後のマネジメントについても考えておくことが必要であり、そのためには、民間事業者も含めた事業主体と事業手法を整理することが重要である。
- ・ 北海道や札幌広域圏といった広い範囲の中で札幌駅交流拠点の考え方を整理する必要がある。

(3) 札幌都心の活性化について

- ・ 札幌都心の商業情勢については、大丸札幌店の売上増加が目立っているが、札幌都心全体の売上が増加していないことが課題である。人口減少や不況などの社会情勢を踏まえると、札幌駅周辺地区だけで都心全体に必要な売上を確保することは難しい。札幌都心は、札幌駅周辺地区、大通地区、すすきの地区の距離が非常に近く、一体的な空間といえる。札幌駅地区、大通地区、すすきの地区のどれかではなく、都心の一体的な発展が重要である。
- ・ 札幌駅交流拠点には、大通交流拠点や創成交流拠点との役割分担が求められる。

(4) 交流拠点としての札幌駅について

- ・これまで札幌市は、観光都市としての政策を進めてきたが、都市観光の施策は遅れている。都市観光という産業を考える必要がある。
- ・札幌駅前通地下歩行空間の整備が完了すると、札幌都心の人の流れに変化が生じる可能性がある。
- ・札幌駅交流拠点からまちへの誘導、人の流れをどうつなぐかについて、ソフト面・ハード面の両面で考えることが必要である。

(5) 新たな交通モードへの対応について

- ・札幌駅交流拠点に関連する新たな交通モードは北海道新幹線と路面電車であり、策定委員会と並行して議論されているので、情報交換をしながら検討を進めていく。
- ・路面電車延伸の議論については、交通マスタープランなどの交通体系全体の中で位置づけを議論していく。策定委員会の中で路面電車の延伸によるメリットについても議論していきたい。
- ・北海道新幹線の札幌駅乗り入れやそれに伴う札幌駅の整備については、道北や道東など全道の支持も得られるように、全道への波及効果について考えていくべきである。北海道新幹線の札幌駅乗り入れについて、札幌駅交流拠点再整備構想を全道にPRする材料として使うことも考えられる。
- ・北海道新幹線の札幌駅乗り入れの大きなインパクトをどのように活かすかが重要となる。

(6) 環境の視点について

- ・エネルギーマネジメントに関しては、飲食・観光・交通などの様々な都市施設との連携が重要である。
- ・札幌都心におけるマイクログリッド(複数の分散型電源と供給先設備をネットワーク化して、発電と供給を一定地域内で最適制御するシステム)の展開が市民に見えるようにした方が良い。

(7) 市民参加について

- ・プランニングセルによって選出した市民が参加するワークショップを平成 22 年 2 月 13 日(土)及び2月21日(日)に開催する。
- ・平成 22 年度には、留学生と学生が参加するワークショップや、札幌市民以外の意見聴取のためのWEB アンケートの実施を検討している。

(8) 国政の情報提供

- ・来年から国の補助事業が新交付金になる。詳細については未定であるが、補助対象の範囲が広がり地方の使い勝手が向上する予定である。国政の状況については、適時情報提供を受けながら検討を進める。

(9) 次回の第2回札幌駅交流拠点再整備構想案策定委員会について

- ・次回の第2回札幌駅交流拠点再整備構想案策定委員会は、3月26日(金)を中心に調整を進める。

(別添資料) 第1回札幌駅交流拠点再整備構想案策定委員会 出席者名簿

2010.1.13

敬称略

(委員)

区分	委員氏名	所属等	第1回委員会
学識	市岡 浩子	札幌国際大学 観光学部 観光経済学科 教授	出席
学識	小林 英嗣	北海道大学大学院 工学研究科 教授	出席
学識	田村 亨	室蘭工業大学 建設システム工学科 教授	出席
学識	平本 健太	北海道大学大学院 経済学研究科 教授	出席
学識	村木 美貴	千葉大学大学院 工学研究科 准教授	出席
経済	大橋 裕二	(株)日本政策投資銀行(DBJ) 北海道支店 企画調査課 課長	出席
経済	鈴川 巧	(株)北海道熱供給公社 理事 営業部長	出席
経済	西川 幸伸	札幌商工会議所 部会・産業部長	出席
鉄道事業者	斉藤 寿	JR北海道 総合企画本部 地域計画部長	出席
国	傳法谷眞光	国土交通省北海道開発局 事業振興部 都市住宅課長	出席
国	渋谷 元	国土交通省北海道開発局 建設部 道路計画課長	出席
道	上谷 誠司	北海道 建設部 建設管理局 建設政策課 参事	出席

(オブザーバー)

道	佐藤 均	北海道環境生活部生活局 道民活動文化振興課 参事	欠席
道	谷 文雄	北海道総合政策部新幹線・交通企画局 新幹線対策室 参事	代理(鳴海主幹)
市	瀬川 誠	札幌市 市長政策室 政策企画部長	出席
市	星 卓志	札幌市 市民まちづくり局 都市計画部長	出席
市	丸田 剛久	札幌市 市民まちづくり局 総合交通計画部長	出席
市	井上 力	札幌市 市民まちづくり局 総合交通計画部 新幹線推進室長	欠席
市	相原 重則	札幌市 都市局 市街地整備部 開発調整担当部長	出席

(事務局)

市	吉岡 亨	札幌市市民まちづくり局 理事	出席
	市民まちづくり局 都市計画部 都心まちづくり推進室		
	八柳 壽修	都心まちづくり推進室長	出席
	高森 義憲	同推進室 事業調整担当課長	出席
コーディネーター	酒本 宏	(株)KITABAグループ	出席

報道関係	8名
傍聴者	9名